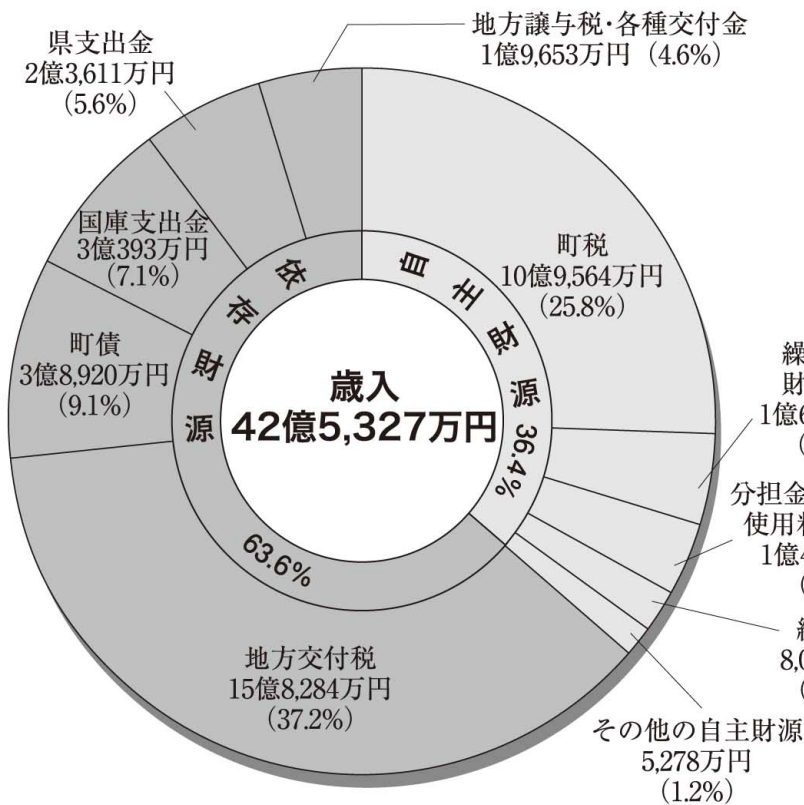


# 平成25年度

# 決算報告

平成25年度は、①生活道路の整備促進・安全確保  
 ②高齢者交通支援制度の創設 ③子育て支援の強化・継続  
 ④一流の文化・芸術体験 ⑤消防・防災力の強化  
 ⑥学校施設の整備充実 ⑦「道の駅みなもの」の振興  
 の7つを重点施策に掲げ、「夢を育める安全・安心で快適なまち」  
 の実現に取り組みました。



## 一般会計決算額

歳入	42億5,327万円
歳出	40億5,743万円
差引	1億9,584万円

## 歳入

歳入は大きく自主財源と依存財源に分けられます。自主財源では町税が、依存財源では地方交付税が大きな割合を占め歳入の柱となっています。

町税のうち、町民税（主に所得割）が減となったものの、固定資産税（主に償却資産）の増税率の改定および売り渡し本数の増による町たばこ税の大幅な増により、町税全体では前年度比36.5万円の増となりました。

一方、地方交付税は、人件費の削減努力分が大幅に加算され、2,416万円の増、県支出金は、緊急雇用創出基金補助金皆減により、4,836万円の減となりました。

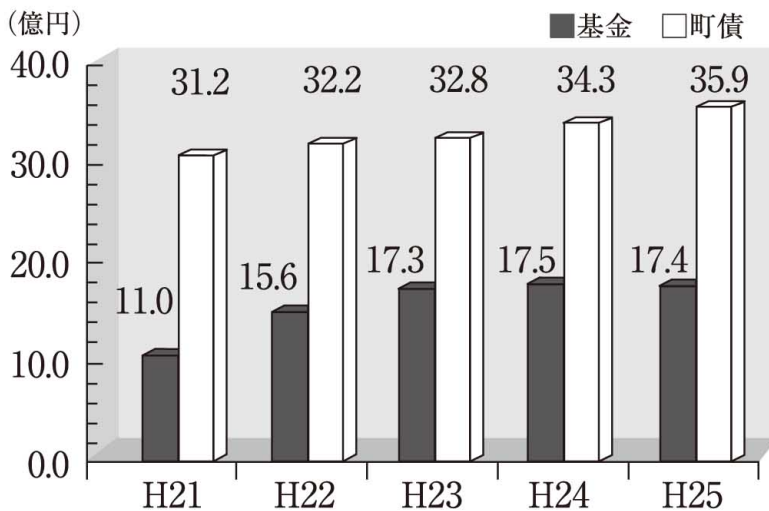
また、繰入金は下田野橋整備や道路改良工事などに充当した

## 歳出

公共施設整備基金からの繰入金が増などにより3,979万円の増となりました。

前年度に引き続き、歳出の中で最も大きな割合を占めたのは民生費ですが、国民健康保険特別会計への繰出金が1,569万円の減となったことなどから前年度比536万円の減となりました。民生費は福祉に関する経費で、児童手当やこども医療費の経費、障害者や高齢者の生

## 基金と町債



基金は貯金、町債は借金を意味します。基金残高は1,000万円減少し、町債残高は1億6,000万円増加しました。町債残高が増加した要因の一つは、防災行政無線整備事業費1億1,770万円の借り入れです。

活支援の経費が主なものです。土木費は、下田野橋整備などにより7,122万円の増、消防費は、消防団詰所・車両の整備(日野沢)により、5,141万円の増となりました。

労働費は、緊急雇用創出事業費の皆減(防犯灯LED化更新工事・教育施設図書管理充実事業など)により、5,184万円の減、教育費は、皆野小学校屋内運動場耐震改修事業費の皆減により5,125万円の減となりました。